

# 生徒アンケート

\* このアンケートは、よりよい授業を実施するための参考資料であり、成績等には関係ありません。安心して「2学期の授業」についてあなたが感じたことを教えてください。

年 組 教科

それぞれの文を読んで、当てはまる番号に○をつけてください。 4…とてもそう思う 3…ややそう思う 2…あまり思わない 1…まったく思わない	
① 授業のはじめに、先生との対話で『めあて』を設定し、今日の授業で取り組むことをイメージできた。	4 3 2 1
② 授業のはじめに、何に着目し、どのように調べたり、学んだりしていけばよいか(『見通し』)を考える時間があった。	4 3 2 1
③ 個人で考えたり、活動したりする時間が十分にあり、課題に粘り強く取り組むことができた。	4 3 2 1
④ 班や級友と関わり合う中で、自分の考えを広げたり深めたりするための時間があった。	4 3 2 1
⑤ 授業や単元の終わりに、自分の言葉で『まとめ』を考え、表現することができた。	4 3 2 1
⑥ 授業や単元の終わりに、学習したことを『振り返り』、分かった(できた)ことや、分からなかった(できなかった)ことは何かなどをつかむことができた。	4 3 2 1
⑦ 授業の終わりに、家庭学習に取り組むための見通しをもつ時間があり、家庭学習で広げたり、深めたりできるイメージできた。	4 3 2 1
⑧ 自主学習を行うことで、家庭学習を行う習慣を身に付けることができた。	4 3 2 1
⑨ 家庭学習に計画的に取り組むことができた。	4 3 2 1
⑩ 自主学習を行うことで、より授業内容が身に付いた。	4 3 2 1
その他、気付いたことや感じたことがあれば書いてください。	

ご協力ありがとうございました。

年 組 番 氏名

# 教師アンケート

\* このアンケートは、「2学期の授業」を振り返り、よりよい授業づくりを行っていくためのものです。

年 組 教科

それぞれの文を読んで、当てはまる番号に○をつけてください。 4…とてもそう思う 3…ややそう思う 2…あまり思わない 1…まったく思わない	
① 授業のはじめに、生徒との対話で『めあて』を設定し、今日の授業で取り組むことをイメージできるようにしている。	4 3 2 1
② 授業のはじめに、何に着目し、どう調べたり、学んだりしていけばよいか（『見通し』）を考える時間を設けている。	4 3 2 1
③ 個人で考えたり、活動したりする時間が十分にあり、課題に粘り強く取り組むことができるように工夫している。	4 3 2 1
④ 班や学級の仲間と関わり合い、自分の考えを広げたり深めたりするための時間を設けている。	4 3 2 1
⑤ 授業や単元の終わりに、生徒が自分の言葉で『まとめ』を考え、表現することができるようにしている。	4 3 2 1
⑥ 授業や単元の終わりに、学習したことを『振り返り』、分かった(できた)こと・分からなかった(できなかった)ことは何かなどをつかむことができるようにしている。	4 3 2 1
⑦ 授業の終わりに、家庭学習に取り組むための見通しをもつ時間があり、家庭学習で授業内容をより広げたり、深めたりできるような働き掛けを行っている。	4 3 2 1
⑧ 生徒が家庭学習を行う習慣を身に付けることができるように働き掛けている。	4 3 2 1
⑨ 生徒が家庭学習に計画的に取り組めるように働き掛けている。	4 3 2 1
⑩ 生徒が復習ノートに取り組めるように働き掛けている。	4 3 2 1
その他、気付いたことや感じたことがあれば書いてください。	

氏名

# 授業参観シート

月 日(木) 5校時  
授業者: 参観者:

## 観察の視点

学習課題  
をとらえる

- ①生徒はめあてを理解しているか。
  - ・文章や図、グラフ等への理解は適切か
  - ・事象の共通点や相違点に着目するなど知識・技能を発揮しているか。

自分の考  
えをもつ

- ②生徒は自分の考えを書けているか。
  - ・言葉や絵、図を用いて考えを整理しているか。
  - ・用いた根拠を適切に表現しているか。

**表現例** 私は・・・と思います。  
それは・・・だからです。  
例えば・・・でしょう。

協働的に  
考える

- ③生徒は協働的に参加しているか。
  - ・ノートや資料を用い、自分の考えを分かりやすく伝えようとしているか。
  - ・自他の考えの内容の良さ、新たな視点等を根拠に対話を進めようとしているか。

整理する

- ④生徒は学習を整理しているか。
  - ・分かった内容を自分の言葉に言い換えて具体的に表現できるか。
  - ・まとめた内容を正しく理解しているか。

振り返る

- ⑤生徒は学んだ内容や自分の成長を自覚しているか。
  - ・学んだ内容を他の問題や場面に転移できるか(しようとしているか)
  - ・新たな問いをもつことができるか。

育成したい 資質・能力

- ①不定詞や動名詞の用法を用いて、簡単な語句や文を自分の言葉で簡潔に表現している。  
(思考・判断・表現)
- ②不定詞や動名詞の表現を用いて、主体的に英語を用いて、ニアラー先生に伝えようとしている。  
(主体的に学習に取り組む態度)

### 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点より

生徒の姿・発話等 黄色	効果的であった指導 青色	改善策 赤色

# 主体的・対話的で深い学びとは

## 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について

	「学習者」の視点	「授業者」の視点
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶことに興味や関心をもつ</li> <li>・自己のキャリア形成の方向性と関連付ける</li> <li>・見通しをもつ</li> <li>・粘り強く取り組む</li> <li>・自己の学習活動を振り返って次につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を振り返る</li> <li>・具体物を提示して引きつける</li> <li>・子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する</li> <li>・子供が自らめあてをつかむようにする</li> <li>・学習課題を解決する方向性について見通しを持たせる</li> <li>・子供が自分の考えを持つようにする</li> <li>・子供の思考を見守る</li> <li>・子供の思考に即して授業展開を考える</li> <li>・子供の考えを生かしてまとめる</li> <li>・その日の学びを振り返る</li> <li>・新たな学びに目を向けさせる</li> </ul>
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める</li> <li>・教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める</li> <li>・地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める</li> <li>・先哲の考え方を手掛かりに考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考を交流させる</li> <li>・交流を通じて思考を広げる</li> <li>・協働して問題解決する</li> <li>・板書や発問で教師が子供の学びを引き出す</li> </ul>
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等の特質に応じた「見方・考え方を働かせる</li> <li>・知識を相互に関連付けてより深く理解する</li> <li>・情報を精選して考えを形成する</li> <li>・問題を見出して解決法を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質・能力を焦点化する。(つきたい力を明確にする)</li> <li>・単元や書く授業の目標を把握する。</li> <li>・ねらいを達成した子供の姿を具体化する。</li> <li>・教材の価値を把握する</li> <li>・単元及び各時間の計画を立てる</li> </ul>

授業者の視点と学習者の視点は、どちらか片方が重要というのではなく、双方を往還することが必要。

授業者による授業の改善の視点と学習者における学びの改善の視点が往還することが主体的・対話的で深い学びの実現につながる。

【学習指導要領を理解するためのヒント】(国立教育政策研究所)